



平成 25 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 共同ピーアール株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 上村 巍
(JASDAQ・コード番号：2436)
問 い 合 せ 先 取締役経営企画室長 信澤 勝之
電 話 03-3571-5172

第 2 四半期業績予想と実績との差異、通期業績予想及び配当予想の修正、 役員報酬の減額並びに役員退職慰労引当金の取崩しに関するお知らせ

平成 25 年 2 月 12 日付で公表した平成 25 年 12 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異が生じたので、その内容をお知らせいたします。また、通期業績予想及び配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本業績予想、配当予想の修正を受けて、本日開催の取締役会において、役員報酬の減額を決定するとともに役員退職慰労引当金の取崩しを決議いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日） の業績予想との差異

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,119	8	8	△5	△4円70銭
実績値(B)	1,845	△112	△112	△58	△47円94銭
増減額(B-A)	△273	△120	△121	△53	—
増減率(%)	△12.9	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年12月期第2四半期)	2,108	85	89	16	13円52銭

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,822	3	3	△5	△4円82銭
実績値(B)	1,582	△96	△95	△44	△36円46銭
増減額(B-A)	△239	△99	△95	△44	—
増減率(%)	△13.2	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年12月期第2四半期)	1,886	80	84	12	21円80銭

(3) 第2四半期業績予想値との差異の理由

当第2四半期連結累計期間は、新政権による各種経済政策の効果などを背景に景気は緩やかに持ち直しているものの、企業の広報やマーケティングに対する予算は未だ抑制傾向にある中で、同業他社との顧客獲得競争が激化しております。当社を取り巻く事業環境が想定以上に厳しく、既存顧客単価の減少を新規顧客獲得数ではカバーしきれず、売上高は前回予想を下回りました。この売上高の減少を受けて、営業利益、経常利益とも減少し、当期純利益につきましては、投資有価証券売却益34百万円を計上したものの、売上高の減少が大きく影響し、前回予想を下回りました。

2. 平成25年12月期通期（平成25年1月1日～平成25年12月31日）の業績予想の修正

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,407	107	108	46	38円14銭
今回修正予想(B)	3,786	△182	△182	△135	△110円08銭
増減額(B-A)	△620	△290	△291	△182	—
増減率(%)	△14.1	—	—	—	—
(ご参考) 前年実績 (平成24年12月期)	4,256	108	114	18	△67円02銭

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,851	96	97	41	33円78銭
今回修正予想(B)	3,164	△194	△193	△140	△114円52銭
増減額(B-A)	△686	△290	△291	△182	—
増減率(%)	△17.8	—	—	—	—
(ご参考) 前年実績 (平成24年12月期)	3,780	90	95	4	△90円00銭

(3) 通期業績予想の修正の理由

下半期は、上半期に引き続き利益率の高いリテイナー顧客の新規獲得に注力していくと同時に、固定費や経費の削減、資産の効率的利用によって財務体質の改善に取り組んでまいり所存ですが、上半期は予想を下回ったことと、現在の受注状況を鑑みると、通期において前回予想の収益水準に至らせることが困難であると判断し、売上高、営業利益、当期純利益とも前回予想を見直すことといたしました。

3. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成25年2月12日発表)	0.00 円 銭	10.00 円 銭	10.00 円 銭
今回修正予想		0.00	0.00
当期実績	0.00		
前期実績 (平成24年12月)	15.00	15.00	30.00

(配当予想の修正理由)

当社は、経営基盤及び財務体質の強化を図ったうえで、期間業績に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。

当期においては、安定的な財務基盤の確立を優先し、内部留保充実に向けた取り組みを重視するため、個別業績に応じた利益配分の指標として、個別配当性向20%~30%程度を基準とし、剰余金の配当を実施することとしておりますが、平成25年12月期の期末配当予想は、収益構造の改善、業績向上に向けた諸施策に取り組んでもなお、当初の業績予想を下回る見通しであることを踏まえ、誠に遺憾ながら期末配当予想を無配と変更させていただきます。

株主の皆様には多大なご迷惑をおかけすることとなりますが、早期の復配を目指して社員一丸となって努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

4. 役員報酬の減額について

現在置かれている当社の状況を踏まえて、経営責任を明確にするため役員報酬の減額を実施いたします。

(1) 役員報酬減額の内容：

代表取締役 月額報酬の30%を減額
その他の取締役 月額報酬の5%~25%の範囲で減額

(2) 対象期間： 無期限（業績の好転が確認できるまで）

5. 役員退職慰労引当金の取崩し及び特別利益の発生について

役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づき役員退職慰労引当金を計上しておりましたが、平成23年12月に発端した元代表取締役役らの退任の経緯及びその後の影響を鑑みて、このたび当社役員退職慰労金規程に基づき、元代表取締役役らに対し、役員退職慰労金を支給しないことと決定いたしました。

これに伴い、平成25年12月期第3四半期決算において、役員退職慰労引当金戻入額29百万円を特別利益として計上いたします。

6. 今後の見通し及び方針

上述の特別利益は、本日公表の平成 25 年 12 月期通期業績予想に織り込み済みであります。

今後の当社方針につきまして、リテイナー顧客数は順調に回復してきており、売上高拡大のための抜本的な組織改革、固定費や経費の削減の徹底に加え、役員報酬の削減等財務体質の改善に向けた諸施策を行い、一日も早い業績の回復を目指します。

■ 見通しに関する注意事項

業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は予想と大幅に異なる場合があります。

以 上